

Book Review

日常臨床の疑問に答えます Q&A70 今さら聞けない!でも知っておきたい歯科医療の基礎知識

武藤晋也 監修

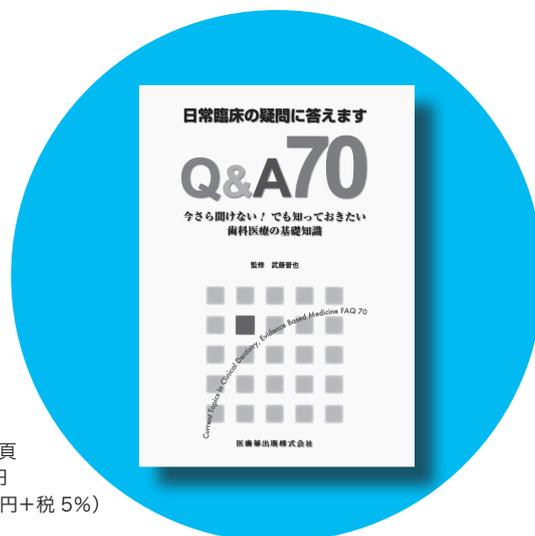


Reviewer

宮内修平

(大阪府・みやうちデンタルクリニック)

B5判, 182頁
定価 7,770円
(本体 7,400円+税 5%)
医歯薬出版刊



2009年7月に第一弾として、武藤晋也先生監修による『若い歯科医師の疑問に答えます Q&A70』が発刊され、好評のうちにこのたび第二弾として、2011年8月、同監修者による『日常臨床の疑問に答えます Q&A70』が発刊された。

さて、今から約40年前、私が歯学部を卒業した当時の歯科事情は、現在とはかなり異なり、卒業すぐにも一人前の開業ができるのではないかとさえ思ったものである。それには二つの理由があった。一つは、卒業前の学生の臨床実習において、指導医のもと、患者さん相手に多くの治療をさせてもらったこと。もう一つは、当時の保存、補綴、口腔外科などすべての臨床分野において、現在と比較すると治療法や材料の種類などが非常に限られたものであったこと、である。

したがって、本書のような座右書がなくても、若い歯科医師がGP（一般臨床医）として、それなりに診療する

ことは十分に可能であった。もちろん、われわれは技術職であるので優秀な臨床家になるには経験が必要であることは昔も今も周知のことであるが…。

ところが、日進月歩の歯科材料の開発とそれに伴う治療法の多様化により、アンダーグラデュエイト教育のみのバックグラウンドでは、卒後にGPとしての臨床にとっても対応できなくなってきているのが現状ではないだろうか。具体的な例としては、インプラント治療がその一つである。インプラントの講義も徐々に大学の正規のカリキュラムに入って来ているようであるが、いまだ十分とは言えず、やはり卒後に企業主催の研修会、講習会等で十分に受講したのち臨床に取り入れているのが現状であると思う。

したがって、インプラントに限らず、あらゆる分野の最新情報を収集し臨床に生かすためには、卒後に個人による自発的な勉強が必要であり、その一環として本書のような座右書が大変

有効な手段の一つとなることは間違いない。

本書は臨床経験の豊富な各分野の専門家による懇切丁寧な解説によって、一般臨床家の抱く多くの疑問に対応できており、日々の臨床を正しく行ううえで非常に有用な座右書である。

また、各設問に対する解答・解説がすべて見開き2頁に収められ、重要なポイントが写真やイラストとともに簡潔に記述されており、非常に読みやすい点も評価できる。

歯科臨床にはEBMによる科学的裏付けが必須であることは言うまでもなく、本書でも全般を通してEBMに基づいた記述がされている。一方、歯科臨床は、技術が伴うことも必須であるため、技術面にも配慮した解説も随所に加味されている。

若手の歯科医師のみならず、幅広い層の先生方に対しても、前刊とともにぜひ本書を診療室での座右書として活用されることをお勧めする。